1998年1月1日

# 安田火災記念財団ニュース

発行：財団法人安田火災記念財団　〒160-8338東京都新宿区西新宿1-26-1　Tel. 03-3349-3130
ホームページ・アドレス http://www.yasuda.co.jp/foundation/index.html

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

## 平成１０年度の応募要領決まる

新年度で２２回目になる社会福祉助成金の応募要領が決定しました。概要は次のとおりです。（詳細はインターネットホームページにも掲載しています）

**１．助成対象**

**（１）対象者**

社会福祉活動を行う国内の団体。法人格の有無を問わない。

**（２）対象事業**

障害者の在宅福祉に関する次の事業（ボランティア活動を含む）。

① 地域生活支援に関する先駆的、実験的な活動

② 就業、授産に関する先駆的、実験的な活動

③ アジア各国の障害者団体との交流・支援活動

**（３）助成金額**

１件20万円から原則として100万円まで。

総額は未定（平成９年度は4,500万円）。

## 2．応募手続

### ①　申請用紙請求先

申請用紙は「はがき」またはファックスで財団事務局に請求する。

### ②　申請書提出先

応募書類は直接財団事務局に送付する。

### ③　応募受付期間

平成１０年２月２日（月曜日）～３月１３日（金曜日）

都道府県別の過去21年間の助成実績は次のとおりです。

| 都道府県 | 件数 | 金　　額 | 都道府県 | 件数 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 22 | 18,650,000 円 | 京都 | 48 | 34,336,000 円 |
| 青森 | 5 | 4,300,000 | 大阪 | 28 | 20,753,900 |
| 岩手 | 12 | 10,200,000 | 兵庫 | 34 | 64,600,000 |
| 宮城 | 19 | 15,393,000 | 奈良 | 10 | 8,150,000 |
| 秋田 | 14 | 7,825,000 | 和歌山 | 10 | 8,650,000 |
| 山形 | 12 | 8,470,000 | 鳥取 | 6 | 4,550,000 |
| 福島 | 19 | 14,285,000 | 島根 | 11 | 11,350,000 |
| 茨城 | 16 | 11,162,800 | 岡山 | 7 | 5,350,000 |
| 栃木 | 10 | 8,100,000 | 広島 | 40 | 31,614,000 |
| 群馬 | 5 | 4,000,000 | 山口 | 20 | 14,248,000 |
| 埼玉 | 30 | 21,197,200 | 徳島 | 14 | 11,200,000 |
| 千葉 | 15 | 10,675,000 | 香川 | 13 | 10,350,000 |
| 東京 | 109 | 111,188,800 | 愛媛 | 14 | 9,750,000 |
| 神奈川 | 65 | 50,292,000 | 高知 | 6 | 4,200,000 |
| 新潟 | 9 | 4,500,000 | 福岡 | 21 | 19,580,000 |
| 富山 | 13 | 9,900,000 | 佐賀 | 4 | 3,500,000 |
| 石川 | 5 | 4,000,000 | 長崎 | 5 | 3,310,000 |
| 福井 | 9 | 7,550,000 | 熊本 | 9 | 7,250,000 |
| 山梨 | 12 | 9,000,000 | 大分 | 5 | 4,500,000 |
| 長野 | 21 | 15,900,000 | 宮崎 | 13 | 9,050,000 |
| 岐阜 | 18 | 14,778,000 | 鹿児島 | 6 | 5,300,000 |
| 静岡 | 15 | 11,860,000 | 沖縄 | 8 | 6,478,000 |
| 愛知 | 24 | 18,977,000 | 海外 | 2 | 2,000,000 |
| 三重 | 28 | 20,049,000 | | | |
| 滋賀 | 29 | 20,350,000 | 総合計 | 870 | 732,672,700 |

## 社会福祉（会議会合等）助成の決定

平成９年１１月２５日に開催された社会福祉助成選考委員会で、次の３件の社会福祉（会議会合等）助成が決定しました。前記の都道府県別助成実績一覧表には、この３件も含まれています。

１．日本障害者協議会「障害者に関する総合計画提言・作成事業」第２年度分
５００万円

２．（社福）日本点字図書館「アジア盲人図書館協力事業・盲人図書館職員講習会の開催」第４回分　１００万円

３．国際リハビリテーション協会社会委員会「国際障害分類に関するセミナー開催費」　２００万円

## 福祉諸科学研究助成の決定

平成９年１２月１７日に開催の福祉諸科学選考委員会で２件の研究助成を決定しました。これより先に３件の研究助成が決定していますので、本年度の研究助成は合計５件、７５０万円となります。

選考委員会では同時に社会福祉関係文献表彰制度についての検討も行われました。事務局では、早ければ平成１１年度から実施することができるかどうか、今後関係各方面と細部にわたる検討を進める予定です。

本年度の福祉諸科学研究助成は次のとおりです。

１．地域福祉民間団体研究会「地域福祉における非営利民間団体に関する研究」
１５０万円

２．筑波大学教授出口正義「保険契約の包括移転に関する研究」　５０万円

３．日本社会福祉学会「国際社会におけるわが国社会福祉の特質・位置づけの明確化と国際貢献の可能性並びにその方法に関する総合的研究」
１５０万円

４．東京大学教授神田秀樹「保険事業のアンバンドリング」　２００万円

５．茨城大学助教授滝澤利行（研究代表）「福祉体験学習にともなう自己変容過程の評価方法に関する研究」　２００万円

## 『国民負担率』シンポジウムを開催

財団では安田総合研究所を事務局とし慶応義塾大学田中滋教授を主査とする『国民負担率』研究会を開催してきましたが、このたび報告書がまとまったのを機会に、この問題についてわが国を代表する方々をパネリストにお招きし、次の要領でシンポジウムを開催しました。

［日時・場所］　平成９年１２月１９日午後３時～午後６時
　　大手町フィナンシャルセンター　大会議室
［テーマ］　「国民負担率問題を考える」
［パネリスト］　田中滋（司会：慶応義塾大学教授）
（発言者順）　広井良典（千葉大学助教授）
　　八代尚宏（上智大学教授）
　　岡本裕三（神戸市看護大学教授）
　　浜中秀一郎（大蔵省財政金融研究所長）

財政構造改革法でも国民負担率が取り上げられており、関係者の関心は非常に高く、シンクタンクやマスコミなど各方面の専門家が出席していました。

シンポジウムの内容は、財団叢書として発行予定です。

## 共同作業所全国連絡会より感謝状

当財団は、障害者の作業所の全国組織である共同作業所全国連絡会より、同会の２０周年記念祝賀会の席上で、感謝状をいただきました。障害者福祉、特に小規模作業所に対する当財団の貢献が高く評価されたものです。

**【寄付のお願い】**

当財団では皆様からの寄付をお願いしています。

平成９年１０月から１２月までに、次の方々から寄付の申込をいただきました。厚く御礼申し上げます。

◎　寄付者名　（寄付日順、敬称略）
　安田ビジネスサービス株式会社
　須田　眹（財団評議員）
　株式会社安田代理店友の会